棚田保存 ボランティア募集！

FUN＋WALK Project 棚田でお米づくり＋WALK

おたんぼクラブ

貴重な棚田を守って行く棚田保存ボランティアを募集しております。
ぜひ多くの皆さまの応援をお待ち申し上げます。

《 ボランティア作業会（慰労会付）概要 》

年４回のボランティアのなかで、ご都合の良い日程や時間、作業内容で応援頂けるボランティアを募集します。
お友達やご家族、グループでのご参加、子ども達の環境学習の一環でのご参加でも構いません、慰労会付きで楽しく活動できる活動です。多くの皆様の応援をお待ちしております。

畔切り　4月20日（土）

「畔切り」とは、新しい畦（あぜ）をつけるために、古い畦の土をクワやスコップで切り削ります

《詳細説明》
冬越しをした田んぼの畦は、草の根でできた穴やモグラなどの穴によって、田んぼの水を保水する能力が低くなります。その機能を整えるため、畦塗りの下地づくりとして畦切りをします。

畔塗り　4月27日（土）

「畔塗り」とは、田んぼの泥土をクワですくい取り、畦切りをした畦に丁寧に塗りつけます

《詳細説明》
畦塗りをすることで、畦の割れ目や穴をふさぎ、田んぼの保水能力を高めます。畦切りと合わせて、昔ながらのお米づくりに欠かせない作業です。

手植えで田植え　5月18日（土）

田植えは、稲の苗を田んぼに植える作業
昔ながらの棚田は昔ながらの手植えで植えます。

《詳細説明》
田植えも昔ながらの手植えで行うことで、景観とともに昔ながらの"結"の営みも大切に考えます。田植えはもとより、皆でお昼を食べたり、休憩や慰労会でのひとときも愉快に楽しみます。

稲刈りとハザがけ　9月28日（土）

実った黄金の稲穂を刈りとり、
ハザにかけていきます

《詳細説明》
稲を５～７束程刈りながらでひとつに結束し、ワラで稲の根元をしっかりと締めてハザにかけます。秋の実りを感じていつも美味しく食べているお米への感謝の気持ちも芽生えます。

《 基本スケジュール 》

（当 日）

９：３０	集合～現地集合（クレイシ棚田） オリエンテーション 作業のレクチャー
１０：００	各グループに分かれて作業スタート
１２：００	午前の作業終了 昼食～お弁当持参若しくは予約注文
１３：００	午後の作業スタート
１５：００	午後の作業終了
１５：１５	いっぷく（休憩） 休憩後に片付け
１５：４５	慰労会＆宿泊場へ移動
１６：００	慰労会場（星空の森）に到着・皆で準備
１７：００	慰労会スタート～乾杯
１９：３０	中締め 各自入浴・就寝等準備

（翌日の朝）

７：００	朝食タイム 7:00～9:00 ～セルフ（ごはん・味噌汁・お漬物・卵）
９：００	朝食タイム終了／片付け
１０：００	チェックアウト

※ 進行具合により予定が早まる場合があります。

参　加　費： 大　人 3,000 円 /1 人（慰労会費 / 保険料込）
小学生 1,000 円 /1 人（慰労会費 / 保険料込）
※ 参加費には慰労会と障害保険加入が含まれます
（保険は棚田作業会以外には適応されません）

お　弁　当： ご持参若くは、こちらでの弁当予約をご希望の方は、事務局でまとめて手配いたします。1,000 円 / 1 名（お茶付き）

宿泊希望： 宿泊をご希望の方は、共有スペースですが止まることができ、旅館やコテージ、キャンプ場をご希望の方はご紹介案内いたします。詳しくは、裏面とホームページをご確認ください。

服装・持ち物： 作業しやすい服装と履物（長靴）/ 長袖長ズボン
帽子 / タオル / 軍手 / 水筒（飲料）
着替え / 洗面道具 / バスタオル
クワなど御持参歓迎 ※道具類は準備有り
虫除シールやスプレー等あれば良い
（宿泊される方）
お布団はありますが寝袋がある方は御持参歓迎

作業場所： クレイシ棚田　22 枚 3 反 2 畝（約 3,173 ㎡）
岐阜県加茂郡東白川村
※ 美濃加茂インターより 55 分

栽培方法： 手づくり有機堆肥・肥料使用、農薬・化学合成資材不使用

お申込み・お問合せ　募集締切：随時受付

青空見聞塾事務局（クレイシ棚田保存プロジェクト委員会）

詳細はホームページで、お申し込みはお電話若しくは裏面のお申込み用紙で

※ 写真は昨年の模様

自然体験プログラム＆総合型地域スポーツクラブ
特定非営利活動法人 青空見聞塾
〒509-1303　岐阜県加茂郡東白川村五加1349番地
TEL: 0574-78-2055　Mail: info@aozora-kenbun.com
FAX: 0574-78-2045　URL: http://aozora-kenbun.com
ホームページ検索　青空見聞塾　www.aozora-kenbun.com